

事務事業名	環境衛生事務事業			事業コード	04010300101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	津田 金也
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	死亡犬等回収委託
根拠法令	有	福井県動物の愛護および管理に関する条例 墓地、埋葬等に関する法律 公衆浴場法			
根拠例規	無	坂井市墓地、埋葬等に関する法律施行細則 公衆浴場基準条例			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

【死亡犬等処置】・・・路上に放置された死亡犬等の回収・供養や苦情対応など、動物愛護及び公衆衛生の向上を図るほか、そ族・昆虫の原因で公衆衛生が確保されず個人又は区での対応が困難であるときは不衛生な状態を解消するように努める。
【公衆浴場設備整備事業】・・・公衆衛生上の見地から、浴場経営の安定化を図り、市民の入浴の確保を図る。
賃借料を支出し、適正な維持管理に務めている。

○委託料
・死亡犬等回収委託料 2,625千円
○使用料及び賃借料
・火葬場跡地借上料（丸岡） 72千円
○補助金
・公衆浴場設備整備事業費補助金 256千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐに行ける改善提案	動物死骸処理については、迅速な対応を行うとともに処理後の連絡体制の強化を図る。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	国、県等の道路管理者との連絡体制を強化し、迅速な対応に努めた。
中長期的に取り組むべき改善提案	飼育されていない猫（野良猫）に、餌を与えてしまうことで住みついてしまい、自然増加につながり周辺住民からの苦情原因となることが多いので、今後対処方法等の検討が必要である。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	野良猫を増やさない方策として、去勢費用の一部補助を検討する。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	2,625	3,961	千円	千円	千円			
		需用費	千円	千円	千円	千円				
		役務費	千円	千円	千円	千円				
		その他	328	186	千円	千円				
	事業費合計	2,953	4,147	千円	千円					
	人件費	正職員	0.82 人	5,829 千円	0.82 人	5,829 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.82 人	5,829 千円	0.82 人	5,829 千円	人	千円	人	千円
総事業費	8,782	9,976	千円	千円						
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	8,782	9,976	千円	千円					
財源合計	8,782	9,976	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	犬猫等の放置された死骸については、動物愛護及び衛生上も必要であることからこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	公衆衛生、公共福祉の観点からも市が実施主体となります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	近年処理量が増えているが、処理単価を据え置いて対応しています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の体制で対応します。			
すぐに行ける改善提案	動物死骸処理については、迅速な対応を行うとともに休日の連絡体制も整えて対応します。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	飼育されていない猫（野良猫）についての対応について、検討していきます。			
目標年度 平成31 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果 死亡犬等回収件数	件	目標値	300	300	300	300
		実績値	316	474	416	340
成果 墓地等の新設・廃止等の許可件数	筆	目標値	0	0	0	3
		実績値	0	0	0	2
活動 広報件数（飼養者啓発）	件	目標値	10	10	10	10
		実績値	2	2	2	2
活動 借地筆数	筆	目標値	2	2	2	2
		実績値	2	2	2	2
		目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	赤坂聖苑管理運営事業			事業コード	04010305101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	津田 金也
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	火葬・待合業務、施設の保守管理
根拠法令	有	墓地、埋葬等に関する法律			
根拠例規	有	坂井市赤坂聖苑条例・同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	赤坂聖苑での火葬業務や運営管理等を指定管理者に委託し、火葬を支障なく行うとともに市民の公衆衛生の向上を図る。				
	赤坂聖苑の業務運営（火葬・待合）及び施設管理を指定管理者に委託し、民間事業者による効率的かつ専門的な運営を行う。 指定管理者：(株)法美社坂井支店（平成25年度から平成29年度まで）				
事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○役務費 <ul style="list-style-type: none"> ・火災保険料 55千円 ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者委託料 41,416千円 ○工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> ・火葬炉耐火物積替工事費（2炉分） 17,280千円 ○負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・地元協力負担金 500千円 				

すぐに行える改善提案	待合室の利用促進を指定管理者に求める。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	近年、増加傾向にある家族葬にも対応できるようになり、利用者への質の高いサービスの提供につながっている。
中長期的に取り組むべき改善提案	広域連合が所管している代官山斎苑との火葬費用等について、組織構成の違いから使用料に差が生じていることから、今後統一に向けた検討を行う必要がある。
目標年度 平成31 年度	
取組状況	坂井市民でありながら使用料が異なるため、今後見直しが必要である。

【事業の概要】

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	41,416	千円	41,600	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	4,726	千円	千円	千円	千円	
		役務費	55	千円	55	千円	千円	千円	千円	
		その他	17,780	千円	9,140	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	59,251	千円	55,521	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.50 人	3,555 千円	0.50 人	3,555 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.50 人	3,554 千円	0.50 人	3,554 千円	人	千円	人	千円
	総事業費		62,805 千円		59,075 千円		千円		千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	9,824 千円	10,068 千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		52,981 千円	49,007 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計		62,805 千円		59,075 千円		千円		千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	指定管理者制度導入により、効率的・専門的に事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	実施主体は、民間事業で行います。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	複数年の指定管理委託を行い、更新ごとに管理料の見直しを行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の人員で対応します。			
すぐに行える改善提案	待合室の利用促進と家族葬の利用拡大を指定管理者に求めます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	広域連合が所管している代官山斎苑との火葬費用等について、使用料等の統一に向けた協議を行っていきます。			
目標年度 平成31 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	指定管理委託料	千円	年度	41416	達成率	41600	達成率	40380	達成率	41714	達成率
				41416	100	41600	100	40380	100	41714	100
成果	待合室利用件数	件	年度	110	達成率	95	達成率	95	達成率	90	達成率
				124	112.73	127	133.68	96	101.05	83	92.22
活動	苦情等対応件数	件	年度	0	達成率	0	達成率	0	達成率	0	達成率
				0	---	0	---	0	---	0	---
活動	モニタリング実施回数	回	年度	3	達成率	3	達成率	3	達成率	3	達成率
				3	100	3	100	3	100	3	100
活動	アンケート回収件数	件	年度	100	達成率	100	達成率	100	達成率	100	達成率
				86	86	126	126	76	76	113	113
活動	火葬件数	件	年度	715	達成率	760	達成率	750	達成率	750	達成率
				768	107.41	706	92.89	702	93.6	763	101.73

【事業の成果】

事務事業名	坂井地区広域連合事業(斎苑)			事業コード	04010305106
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	津田 金也
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務(義務的なもの)
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	火葬・待合業務
根拠法令	有	墓地、埋葬等に関する法律			
根拠例規	有	代官山斎苑の設置及び管理に関する条例・同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

坂井地区広域連合が代官山斎苑(三国町、あわら市管内の市民)の火葬業務や墓地等の運営を行うことで、市民の公衆衛生の向上を図る。

○負担金 15,011千円

坂井市負担分		
・均等割 (10%分)	1,501千円	
・火葬件数割 (90%分)	13,510千円	
合計	15,011千円	

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	待合室の利用促進について、管理者に提案を求める。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	赤坂聖苑同様、近年増加傾向にある家族葬にも対応できるようになり、市民サービスの向上を図っている。		
中長期的に取り組むべき改善提案	管内、準管内者の火葬等において、赤坂聖苑との利用料金等の検討を行う必要がある。		
目標年度 平成31 年度			
取組状況	市が管理する赤坂聖苑の維持管理経費や運営状況と比較しながら、市民への質の高いサービスの向上を図る。		

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力(民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等)を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？(事業の成果が十分に上がっていますか？)	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？(国、県、民間の活動と重複していませんか？)	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	15,011千円	16,329千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	15,011千円	16,329千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.40人	2,844千円	0.40人	2,844千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.40人	2,844千円	0.40人	2,844千円	人	千円	人	千円
総事業費		17,855千円	19,173千円	千円	千円	千円	千円			
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円			
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	一般財源	17,855千円	19,173千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	17,855千円	19,173千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	指定管理者制度の導入により、効果的、専門的に事業を継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	実施主体は、民間事業者とします。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	複数年の指定管理契約を行っていますので、更新まで維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の人員体制で対応します。			
すぐにできる改善提案	待合室の利用促進について、管理者に提案を求めます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	赤坂聖苑と代官山斎苑との火葬費用の協議を行っていきます。			
目標年度 平成31 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
活動	墓地区画貸付件数(三国町)	件	年度	12000	達成率	12000	達成率	12000	達成率	12000	達成率
				実績値	15011	125.09	16329	136.07	14980	124.83	11758
活動	火葬件数(三国町)	件	年度	10	達成率	10	達成率	10	達成率	10	達成率
				実績値	6	60	9	90	6	60	7
			年度	250	達成率	250	達成率	250	達成率	250	達成率
				実績値	267	106.8	283	113.2	277	110.8	275
			年度	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
				実績値							
			年度	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
				実績値							
			年度	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
				実績値							

【事業の成果】

事務事業名	狂犬病予防事業			事業コード	04010310101		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	佐藤 康弘		
事業対象	市民及び犬の飼養主						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	自然環境の保全と共生			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	犬の登録、予防注射接種業務		
根拠法令	有	狂犬病予防法					
根拠例規	有	坂井市狂犬病予防法の施行に関する規則					
関連計画・マニュアル	無						
事業の概要	狂犬病予防法に基づき、畜犬の登録と狂犬病の予防接種を飼い主に義務づけ、狂犬病の発生と蔓延の防止を図る。						
	<p>接種率の向上と飼い主の利便性向上のため、毎年4月から5月頃に巡回により集団予防接種を実施する。また、集団予防接種以外の登録及び予防接種は(社)福井県獣医師会に委託し事務の効率化を図っている。</p> <p>【発行数】</p> <p>鑑札 263件 注射済票 2,949件</p> <p>○需用費 ・鑑札、注射済票他 117千円 ・フン害防止看板 30千円</p> <p>○役務費 ・集合注射案内郵便料 200千円</p> <p>○委託料 ・犬の登録事務等委託料 744千円</p>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	時間指定による巡回により予防接種を実施しているが、地域を集約し事務の効率化を目指す。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	平成28年度には集団接種の実施場所を1カ所減らし、事務負担の軽減を図った。また、狂犬病予防接種の周知について、市広報誌及びホームページ等により啓発を行った。		
中長期的に取り組むべき改善提案	狂犬病予防接種の啓発普及について継続的に行い、動物病院との連携を密にし、個別接種の利便性を広く周知し接種率向上に努める。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	接種率の向上及び登録数の正確な把握のため、新たな施策を検討する。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境衛生費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	744	709						
		需用費	147	142						
		役務費	200	230						
		その他	千円	千円	千円	千円				
		事業費合計	1,091	1,081	千円	千円				
	人件費	正職員	0.91 人	6,469 千円	0.91 人	6,469 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.91 人	6,469 千円	0.91 人	6,469 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	7,560 千円	7,550 千円	千円	千円					
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	1,091 千円	1,081 千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		6,469 千円	6,469 千円	千円	千円					
財源合計	7,560 千円	7,550 千円	千円	千円						

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	狂犬病予防法に基づき実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	福井県獣医師会の協力を仰ぎ、連携して実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	接種率の向上による経費増は、事務効率で現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の体制で対応します。			
すぐにできる改善提案	巡回集団予防接種を時間指定で実施し接種率向上に努めているが、出来る限り地域を集約しながら事務の効率化を図っていきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	狂犬病予防接種の周知については、広報及びホームページ等で啓発しているが、接種率向上及び登録数把握のために新たな取り組みを検討していきます。			
目標年度 平成31 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	%	目標値	70	70	70	70		
		実績値	69.3	99	68.0	97.14	66.6	95.14
成果	件	目標値	3000	3000	3000	3000		
		実績値	2949	98.3	2965	98.83	2974	99.13
活動	件	目標値	350	350	350	360		
		実績値	263	75.14	261	74.57	341	97.43
活動	回	目標値	1	1	1	1		
		実績値	2	200	1	100	1	100
		目標値						
		実績値						
		目標値						
		実績値						

事務事業名	公害対策事業			事業コード	04010400101		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	佐藤 貴史		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	公害対策の推進		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	環境関係諸法令					
根拠例規	有	坂井市環境基本条例、坂井市環境保全条例					
関連計画・マニュアル	有	坂井市環境基本計画					
事業の概要	<p>大気や水質等環境の状況及び協定事業所等の協定項目を定期的、継続的に分析調査することにより、公害の未然防止を図り、市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことができる自然環境、生活環境を確保します。</p>						
	<p>事業の目的・事業の概要等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費 81千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費（大気汚染観測局電気料）81千円 ○役務費（電話料、火災保険料他）75千円 ○委託料 7,447千円 <ul style="list-style-type: none"> ・テレメーターシステム保守委託料 313千円 ・大気汚染測定機保守委託料 1,858千円 ・公害対策分析委託料 5,276千円（河川水、工場排水、残留農薬、地下水、悪臭、ダイオキシン類、自動車騒音、土壌・水質分析） ○使用料及び賃借料（調査船舶借上）86千円 ○建物解体工事費 454千円 ○備品購入費 9,050千円 <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染監視システム備品 9,050千円 						

すぐにできる改善提案	騒音、悪臭などの感覚公害と言われる苦情が年々増加しており対応に苦慮しているが、誠意をもって早期解決に努めます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	現地に向き発生状況を確認し、早期に解消するよう発生者に対し求めています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことができるよう、公害の未然防止を図るとともに、事務所等への監視指導に努めます。		
目標年度 平成31 年度			
取組状況	事業者への立ち入り調査を継続し、超過が確認された場合は原因究明および対策を求めています。		

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	7,447千円	7,788千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	81千円	239千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	75千円	143千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	9,590千円	33千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	17,193千円	8,203千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.86人	6,114千円	0.86人	6,044千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.86人	6,114千円	0.86人	6,044千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費		23,307千円	14,247千円	千円	千円	千円	千円	
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他			5,600千円	1,889千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		17,707千円	12,358千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	23,307千円	14,247千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	大気や水質など環境状況を常に把握するとともに、分析調査等を継続して行い、法律等が遵守されているか継続的に監視していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	行政以外は考えられません。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の範囲の中で、最大の効果が発揮できるよう目指します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状の体制で対応します。			
すぐにできる改善提案	悪臭等の感覚公害による苦情が多く発生しているが、現地調査を実施し早期解決に努めます。			
目標年度 -- 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市民が健康で安全かつ快適な生活を営むことができるよう、公害の未然防止を図るとともに、事務所等への監視指導に努めます。			
目標年度 平成31 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
成果	環境保全項目達成率	目標値	100	達成率 100	達成率 100	達成率 100
		実績値	97.4	97.4	100	100
成果	苦情調整件数	目標値	-	達成率 -	達成率 -	達成率 -
		実績値	102	---	80	---
活動	立入調査企業数（排出規制）	目標値	-	達成率 -	達成率 -	達成率 -
		実績値	42	---	43	---
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

【事業の成果】

【前年度改善案に対する取組状況】

【担当者評価】

【所属長評価】

事務事業名	環境保全事務事業			事業コード	04010405101		
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	佐藤 貴史		
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）	
	基本計画	循環型社会の構築			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	有	環境基本法					
根拠例規	有	坂井市環境基本条例					
関連計画・マニュアル	無						
事業の目的・事業の概要等	市環境基本条例に基づく基本的かつ重要な事項の審議及び環境保全全般にわたる施策の円滑な推進を図ります。また、県民が一体となって進める環境保全に関する県民運動に参画し、普及啓発を推進します。						
	○報酬（環境審議会委員報酬）1回開催 ○負担金（環境ふくい推進協議会負担金）	84千円 100千円					

【事業の概要】

すぐにできる改善提案	環境保全全般に係る情報収集に努めるとともに、市民への周知も適時行っていきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	広報やホームページに積極的に掲載するなどし周知を徹底しています。		
中長期的に取り組むべき改善提案	環境基本計画の見直し内容を踏まえ、環境保全活動の推進を図っていきます。		
目標年度 平成31 年度			
取組状況	清掃活動の実施など環境保全活動を引き続き推進しています。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	84千円	147千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	157千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	100千円	100千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	184千円	404千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.29人	2,062千円	0.29人	2,038千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.29人	2,062千円	0.29人	2,038千円	人	千円	人	千円
	総事業費		2,246千円	2,442千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	50千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		2,246千円	2,392千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	2,246千円	2,442千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	環境基本条例に基づいて実施します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	条例に基づく施策や審議は、市が実施主体となります。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	必要最小限の費用で事業を実施しています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の体制で対応します。			
すぐにできる改善提案	環境保全全般にかかる様々なデータ収集に努め、市民に周知していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	環境基本計画に基づいて、環境保全活動の推進を図っていきます。			
目標年度 平成31 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	
市町環境連携事業	団体数	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率
		実績値	1	100	1	100	1	100
環境審議会開催回数	回	目標値	2	達成率	2	達成率	2	達成率
		実績値	1	50	2	100	1	50
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率		達成率
		実績値						

【事業の成果】

事務事業名	環境基本計画推進事務事業			事業コード	04010410101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	持川 浩一郎
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	環境基本計画推進活動
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有 坂井市環境基本計画				
事業の目的・事業の概要等	環境基本計画の中間点検を行いこれまでの進捗状況の把握及び今後の施策の見直し等を検討し、自然環境保全事業などの基本施策を推し進め、市の目指す環境像の実現に向け環境基本計画の推進に取り組みます。				
	○需用費（食糧費：お茶代） 9千円 ○委託料（環境基本計画推進事業企画運営委託料） 692千円 ○負担金 739千円 ・環境自治体会議負担金 50千円 ・生物多様性保全活動支援事業市負担金 689千円 （陣ヶ岡丘陵地域生物多様性保全協議会活動支援）				

【事業の概要】

すぐに行える改善提案	環境保全について、市民への周知や活動の呼びかけを行うことで環境への意識向上を図ります。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	市民向けの環境講座および講演会を開催し、意識の向上に努めます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	環境基本計画の見直しの結果を踏まえ、今後市の将来の環境像「彩豊かな自然を育むひと まち さかい」の実現に向けた施策に取り組んでいきます。		
目標年度 平成31 年度			
取組状況	坂井市環境基本計画に基づき、住民意見を踏まえながら環境基本計画推進団体と協働し施策展開を行っていきます。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費					
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度			
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		委託費	692千円	1,500千円	千円	千円	千円	千円			
		需用費	9千円	9千円	千円	千円	千円	千円			
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		その他	697千円	739千円	千円	千円	千円	千円			
		事業費合計	1,397千円	2,247千円	千円	千円	千円	千円			
		人件費	正職員	0.85人	6,043千円	0.85人	6,043千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.85人	6,043千円	0.85人	6,043千円	人	千円	人	千円
	総事業費	7,440千円	8,290千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円			
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		7,440千円	8,290千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	7,440千円	8,290千円	千円	千円	千円	千円					

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	環境基本計画に基づき、環境保全の施策を展開します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市と環境保全団体の協働により実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	必要最小限の費用で事業を行います。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の体制で対応します。			
すぐに行える改善提案	環境保全団体と協働しながら環境保全活動について、市民へ周知するとともに市民が参加しやすい事業を展開していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	環境基本計画に基づき、市の目指すべき環境像を実現するため、環境保全の施策に取り組んでいきます。			
目標年度 平成31 年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	環境基本計画の推進度	目標値	80	達成率 80	達成率 80	達成率 70		
		実績値	70	87.5	65	81.25	60	75
活動	環境フォーラム参加者数	目標値	250	達成率 250	達成率 250	達成率 250		
		実績値	250	100	360	144	50	20
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

【事業の成果】

事務事業名	地球温暖化防止対策事業			事業コード	04010410106
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	持川 浩一郎
事業対象	市民、事業者				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	自然環境の保全と共生		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	庁舎省エネルギー調査管理サポート
根拠法令	有 エネルギーの使用の合理化に関する法律、地球温暖化防止対策の推進に関する法律				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	有 省エネルギー管理中長期計画、坂井市環境基本計画				
事業の概要	市自らが率先して地球温暖化防止に取組むとともに、市内事業所及び市民に対し、広く地球温暖化対策及び再生可能エネルギーに関する情報提供と周知、啓発していくことで、市内から排出される温室効果ガスの排出量削減を図り、かつ、地域の特性を生かした再生可能エネルギーの普及推進に努めます。				
	事業の目的・事業の概要等	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費（エネルギー管理講習会参加旅費） 9千円 ○需用費 136千円 <ul style="list-style-type: none"> ・印刷製本費 70千円 ・車検修繕料 66千円 ○役務費 85千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電気自動車車検手数料 13千円 ・電気自動車保険料 72千円 ○委託料（省エネ推進コンサルティング業務委託料） 454千円 ○使用料及び賃借料（有料道路通行料） 9千円 ○公課費（自動車重量税） 8千円 ○負担金、補助及び交付金 2,646千円 <ul style="list-style-type: none"> ・負担金（エネルギー管理講習会負担金） 18千円 ・補助金（住宅用太陽光発電導入促進事業費補助金） 2,628千円 			

すぐに行ける改善提案	温暖化防止策に対する市民および企業の賛同を得るための施策を検討し、市全体での取り組みにしていきます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	ライトダウンキャンペーンやエコdeお得キャンペーンに変わる啓発手段を検討しつつ、子どもたちへの環境教育による事業推進を図ります。		
中長期的に取り組むべき改善提案	太陽光発電補助については、国や県の補助制度が廃止や縮小していく現状において、市としても今後の対応について検討する必要があります。再生可能エネルギーの促進面から、太陽光以外の再生エネの取り組みを検討していきます。		
目標年度 平成31 年度			
取組状況	太陽光発電補助金は平成28年度より県、市ともに廃止となり、今後それに代わる省エネ推進施策を図る必要がある。国、民間などからの情報収集を行いながら、社会情勢、コストに見合った事業を検討していきます。		

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	454	千円	454	千円	千円	千円	千円	
		需用費	135	千円	93	千円	千円	千円	千円	
		役務費	85	千円	47	千円	千円	千円	千円	
		その他	2,670	千円	4,923	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	3,344	千円	5,517	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.70 人	4,976 千円	0.70 人	4,976 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.70 人	4,976 千円	0.70 人	4,976 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	8,320	千円	10,493	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
使用料・手数料			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源		8,320	千円	10,493	千円	千円	千円	千円	千円	
財源合計	8,320	千円	10,493	千円	千円	千円	千円	千円		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	国、県からの情報収集をしながら継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市が実施主体となって取り組んでいきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	必要最小限のコストで運営します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の体制で対応します。			
すぐに行ける改善提案	エコ活動、ライトダウンなどの事業について、協力企業の参加向上のための施策を検討していきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	国、県の温暖化防止事業についての情報収集や調査、研究しながら、社会情勢に沿った事業を展開していきます。			
目標年度 平成31 年度				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度				
成果	市民一人当たりの年間CO2排出量	目標値	2.20	達成率	2.28	達成率	1.85	達成率	1.85	達成率
		実績値			2.12	92.98	2.29	123.78	2.36	127.57
活動	ライトダウンキャンペーン参加事業所数	目標値	200	達成率	200	達成率	200	達成率	250	達成率
		実績値	53	26.5	72	36	91	45.5	96	38.4
活動	COOL CHOICE賛同事業所数	目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								
		目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
		実績値								

【前年度改善案に対する取組状況】

【事業の概要】

【事業の目的・事業の概要等】

【前年度改善案に対する取組状況】

【妥当性】

【効率性】

【有効性】

【所屬長評価】

【事業の成果】

事務事業名	環境美化事業			事業コード	04010410111		
所管部署	環境推進課		電話	50-3032		記入者名	持川 浩一郎
事業対象	市民						
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	自然環境の保全と共生			事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	無						
根拠例規	無						
関連計画・マニュアル	有 坂井市環境基本計画						
【事業の概要】	身の回りの環境について特に関心を持ち考える環境月間の6月に、市内全域で一斉清掃活動を行う「坂井市クリーンキャンペーン活動」を実施することにより、市民一人一人の環境保全に対する関心や環境美化意識の醸成を図ります。また自然豊かな水辺環境を将来世代へ確実に引き継いでいくため、自治会やボランティア団体、事業者及び関係機関と情報を共有し連携した取組みを進める「プラットフォーム・さかい」を組織し、毎年3月の第1日曜日にごみ一掃統一行動を行い市内の水辺美化促進や生態系の保全を図ります。						
	事業の目的・事業の概要等	-クリーンキャンペーン- ○委託料（一般廃棄物収集運搬委託料） 481千円 ・一般廃棄物収集運搬委託料 341千円 ・不法投棄廃棄物処理委託料 140千円 -海ごみ川ごみプラットフォーム・さかい- ○報償費（対策検討委員謝礼） 10千円 ○委託料（一般廃棄物収集運搬委託料） 258千円					

すぐに行ける改善提案	効果的な内容での事業周知によって参加区数、参加者数の増大を目指します。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	HP、広報紙、その他媒体の積極的活用をおこないます。		
中長期的に取り組むべき改善提案	市民や各種団体等が、自主的な清掃活動に参加、取り組めるような体制づくりの構築を目指します。		
目標年度 平成30 年度			
取組状況	現状の取組みを継続実施します。		

【前年度改善案に対する取組状況】

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	衛生費	項	保健衛生費	目	環境保全費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	738 千円	136 千円	千円	千円			
			需用費	千円	33 千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円			
			その他	10 千円	8 千円	千円	千円			
	事業費合計	748 千円	177 千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.95 人	6,754 千円	1.05 人	7,464 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.95 人	6,754 千円	1.05 人	7,464 千円	人	千円	人	千円
総事業費	7,502 千円	7,641 千円	千円	千円						
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	7,502 千円	7,641 千円	千円	千円					
財源合計	7,502 千円	7,641 千円	千円	千円						

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	市と地域一体で環境美化推進を行っているので継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	市と地域の協働により実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	必要最小限の経費で実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現代の体制で対応します。			
すぐに行ける改善提案	市内全域が参加してもらえるように、広報活動や協力依頼を行います。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	6月の第一日曜日を統一日として事業展開しているが、日程にこだわらず地区の実情に合わせた自主的な活動を実施していただくことで、市内全域が清掃活動できるよう取組んでいきます。			
目標年度 平成30 年度				

【所属長評価】

【事業の成果】	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
	成果	一掃統一行動時の参加者数	人	目標値 2000 達成率 3000 達成率	2000 66.67 2000 66.67	2000 66.67 2000 200	
活動	クリーンキャンペーンの参加者数	人	目標値	10000 達成率 10000 達成率	10000 達成率 10000 達成率	10000 達成率 10000 達成率	
			実績値	10682 106.82 9571 95.71	7627 76.27 9700 0.12		
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				
			目標値	達成率	達成率	達成率	達成率
			実績値				

事務事業名	一般廃棄物収集処理事業			事業コード	04020100101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	細川 秀樹
事業対象	市民				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	循環型社会の構築		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	一般廃棄物の収集運搬・処理業務
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	坂井市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			
関連計画・マニュアル	有	坂井市一般廃棄物処理基本計画			

【事業の概要】

一般廃棄物の適正な分別、収集、運搬、処分等により公衆衛生の向上を図るとともに、リデュース（Reduce 廃棄物の発生抑制）、リユース（Reuse 再利用）、リサイクル（Recycle 再生利用、再資源化）の3Rを推進し、循環型社会の構築を図る。

◆一般廃棄物収集処理事業

- 報償費
 - ・環境指導員活動謝礼 10,605千円
- 旅費
 - ・特別旅費 36千円
- 需用費
 - ・消耗品費（分別容器購入費他） 299千円
 - ・印刷製本費（ごみカレンダー印刷費他） 1,675千円
- 役務費
 - ・ごみ袋等取扱い手数料他 12,895千円
- 委託料
 - ・一般廃棄物収集運搬委託料 242,519千円
 - ・ごみ袋作成委託料 45,117千円
 - ・大型廃品特別収集委託料 9,137千円
 - ・夏季特別塵芥収集委託料（三国） 1,399千円
 - ・指定収集袋等保管配送業務委託料 1,138千円
 - ・特定小型家電回収事業委託料 877千円
 - ・不法投棄廃棄物処理委託料 116千円
- 備品購入費
 - ・不法投棄防止対策備品購入費 140千円
- 負担金及び補助金
 - ・広域圏清掃センター負担金 594,130千円
 - ・資源（古紙類）回収奨励金 10,705千円
 - ・除塵機維持管理負担金 2,486千円
 - ・ごみステーション設置補助金 1,119千円
 - ・角隠島収集運搬事業補助金 562千円

予算	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	300,304千円	253,340千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	1,974千円	44,919千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	12,895千円	13,850千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	619,782千円	549,758千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	934,955千円	861,867千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	3.41人	24,242千円	3.41人	24,242千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	3.41人	24,242千円	3.41人	24,242千円	人	千円	人	千円
		総事業費	959,197千円	886,109千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
使用料・手数料			154,237千円	149,902千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
地方債	千円		千円	千円	千円	千円	千円			
その他	5,671千円		5,682千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	799,289千円	730,525千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	959,197千円	886,109千円	千円	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	市民1人1日あたりごみ排出量	目標値	808	達成率 846	達成率 846	達成率 846		
		実績値	879	108.79	896	105.91	886	104.73
成果	市民1人あたりのごみ処理経費	目標値	10000	達成率 10000	達成率 10000	達成率 10000		
		実績値	9844	98.44	8994	89.94	10056	100.56
活動	集回回収資源回収量	目標値	2500	達成率 2500	達成率 3500	達成率 3500		
		実績値	1949	77.96	2023	80.92	2162	61.77
活動	リサイクル率	目標値	27	達成率 17	達成率 23	達成率 23		
		実績値	12.9	47.78	13.8	81.18	14.5	63.04
活動	粗大ごみ回収事業回収量	目標値	300	達成率 330	達成率 340	達成率 340		
		実績値	308	102.67	302	91.52	327	96.18
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

すぐにできる改善提案	一般廃棄物処理基本計画の改定に沿った、ごみ減量化の取り組み等を市民や事業者へ周知していく。また環境指導員のあり方を見直し、リサイクル率の向上に取り組む。
目標年度 平成28年度	
取組状況	一般廃棄物処理基本計画に基づき、適正な循環資源の分別回収を実施するとともに、家庭系ごみの組成調査を実施し、排出実態からみたごみの減量化・資源化への可能性と市民が参加しやすいリサイクルシステムを検証する。
中長期的に取り組むべき改善提案	一般廃棄物処理基本計画の改定のなかで、見直しを行ったごみ減量化に関する目標値を達成するための、様々な施策の具体的実施方法について取り組む。清掃センター搬入手数料及び特別集積地手数料について見直しを行う。
目標年度 平成29年度	
取組状況	収集委託業者とのヒアリングを重ねる中で、特別集積地制度のあり方を考察する。

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	一般廃棄物の適正な処理を行うことで、公衆衛生の向上が図られるとともに、循環型社会の構築のためにも事業継続します。また、粗大ごみ回収の区負担金については、排出重量による従量制で負担するように改善します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	廃棄物処理及び清掃に関する法律により定められているため市が実施主体となって行います。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	家庭系、事業系のごみについて、コスト削減のため、再使用やリサイクルなど減量化を推進していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の体制で対応します。			
すぐにできる改善提案	家庭系ごみの組成調査を実施し、ごみ排出からごみ減量化、資源化への可能性を検証します。市民に対しごみの現状を公表し、ごみ減量化のやりサイクルを推進していきます。			
目標年度 平成28年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	事業所及びアパートから排出されるごみを市が収集する特別集積地制度について、制度の在り方を検討してきます。			
目標年度 平成30年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度		
成果	市民1人1日あたりごみ排出量	目標値	808	達成率 846	達成率 846	達成率 846		
		実績値	879	108.79	896	105.91	886	104.73
成果	市民1人あたりのごみ処理経費	目標値	10000	達成率 10000	達成率 10000	達成率 10000		
		実績値	9844	98.44	8994	89.94	10056	100.56
活動	集回回収資源回収量	目標値	2500	達成率 2500	達成率 3500	達成率 3500		
		実績値	1949	77.96	2023	80.92	2162	61.77
活動	リサイクル率	目標値	27	達成率 17	達成率 23	達成率 23		
		実績値	12.9	47.78	13.8	81.18	14.5	63.04
活動	粗大ごみ回収事業回収量	目標値	300	達成率 330	達成率 340	達成率 340		
		実績値	308	102.67	302	91.52	327	96.18
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率	
		実績値						

事務事業名	坂井地区広域連合事業（環境衛生）			事業コード	04020200101
所管部署	環境推進課	電話	50-3032	記入者名	津田 金也
事業対象	構成市住民、利用者				
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	循環型社会の構築		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	し尿の収集運搬・処理業務
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
根拠例規	有	さかいクリーンセンターの設置及び管理に関する条例 ・同施行規則			
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	坂井地区広域連合で、坂井市、あわら市管内のし尿及び浄化槽汚泥の適正な収集・運搬及び処分等の処理を行うことで、環境衛生の向上を図る。また、さかいクリーンセンターの供用開始により事業運営を特別目的会社（SPC）に委託していることから、モニタリング機能を強化していく。				
	○負担金 66,388千円 坂井市負担分 ・均等割（10%分） 6,639千円 ・投入量割（90%分） 59,749千円 合計 66,388千円				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	現在、事業運営している特別目的会社に対しモニタリング機能を強化させ、その結果に基づいた運営を求める。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	民間事業者に業務を委託しているため、施設の運営等が適正に実施されるよう構成市としての役割を行った。		
中長期的に取り組むべき改善提案	年々排出量が減少して行く中で、市民のニーズや事業者の現状、課題等について調査するとともに、し尿収集運搬体制等の見直しも含め検討していく。		
目標年度 平成31 年度			
取組状況	生活環境の維持のために必要であり、今後も適正な施設管理のもと継続して事業に取り組んでいくことが重要である。		

【前年度改善案に対する取組状況】

効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	66,388 千円	77,173 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	66,388 千円	77,173 千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.15 人	1,066 千円	0.15 人	1,066 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.15 人	1,066 千円	0.15 人	1,066 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	67,454 千円	78,239 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		特定財源								
国県支出金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
使用料・手数料		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他		1,878 千円	1,804 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
一般財源	65,576 千円	76,435 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	67,454 千円	78,239 千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	し尿及び浄化槽汚泥の適正な収集、運搬、処分等の処理は、衛生面等から必要不可欠なのでこのまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	公衆衛生上からも公益性が高いことから現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	広域連合で効果的・効率的に運営されています。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	事業運営している特別目的会社に対し、モニタリング機能を生かしながら適切な運営を行わせませす。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	下水道の普及によりし尿・浄化槽汚泥の収集量が減少していく中で、市民からのニーズ、事業者の現状などを調査しながら、し尿収集運搬体制等の見直しの検討していきます。			
目標年度 平成31 年度				

成果	指標名	単位	年度	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	負担金	千円	目標値	100000	達成率	100000	達成率	100000	達成率	100000	達成率
			実績値	66388	66.39	77173	77.17	71584	71.58	95695	95.69
活動	し尿処理量	k l	目標値	10000	達成率	10000	達成率	10000	達成率	11800	達成率
			実績値	9316	93.16	9738	97.38	9793	97.93	10790	91.44
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								
			目標値		達成率		達成率		達成率		達成率
			実績値								

【事業の成果】

事務事業名	浄化槽設置整備補助事業			事業コード	04020200106																					
所管部署	環境推進課		電話	50-3032		記入者名	佐藤 康弘																			
事業対象	対象地区において浄化槽を設置する者																									
総合計画	基本構想	美しい自然と共生するまちづくり			事業区分	自治事務（義務的なもの）																				
	基本計画	循環型社会の構築			事業種別	ソフト事業																				
実施主体	その他	実施手段	業務の全部を委託		委託内容	下水道区域外における浄化槽の設置																				
根拠法令	有	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法																								
根拠例規	無	坂井市下水道区域外における合併処理浄化槽設置整備事業費補助金																								
関連計画・マニュアル	無																									
事業の概要	公共下水道事業計画区域の区域外または区域内であって公共下水道の接続が困難な地域において、合併処理浄化槽の設置に要する経費に対して支援することにより、生活環境の保全及び公共衛生の向上を図る。																									
	<p>補助率</p> <p>(1) 住宅用途の建物に設置する場合 補助対象経費の5分の4以内の額と要綱に規定する別表1に掲げる各人槽区分ごとの補助限度額を比較して少ない方の額とする。</p> <p>(2) 住宅用途以外の建物に設置する場合 補助対象経費の5分の3以内の額と要綱に規定する別表2に掲げる各人槽区分ごとの補助限度額を比較して少ない方の額とする。</p> <p>○別表1</p> <table border="1"> <tr> <td>人槽区分</td> <td>補助限度額</td> </tr> <tr> <td>5人槽</td> <td>704千円</td> </tr> <tr> <td>6～7人槽</td> <td>882千円</td> </tr> <tr> <td>8人槽以上</td> <td>1,176千円</td> </tr> </table> <p>○別表2</p> <table border="1"> <tr> <td>人槽区分</td> <td>補助限度額</td> </tr> <tr> <td>5人槽</td> <td>528千円</td> </tr> <tr> <td>6～7人槽</td> <td>662千円</td> </tr> <tr> <td>8～10人槽</td> <td>882千円</td> </tr> <tr> <td>11～20人槽</td> <td>1,503千円</td> </tr> <tr> <td>21人槽以上</td> <td>2,317千円</td> </tr> </table>							人槽区分	補助限度額	5人槽	704千円	6～7人槽	882千円	8人槽以上	1,176千円	人槽区分	補助限度額	5人槽	528千円	6～7人槽	662千円	8～10人槽	882千円	11～20人槽	1,503千円	21人槽以上
人槽区分	補助限度額																									
5人槽	704千円																									
6～7人槽	882千円																									
8人槽以上	1,176千円																									
人槽区分	補助限度額																									
5人槽	528千円																									
6～7人槽	662千円																									
8～10人槽	882千円																									
11～20人槽	1,503千円																									
21人槽以上	2,317千円																									

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	少子・高齢化は、長期に渡ることが確定的であり、人口の急激な減少は避けられない。このような現状では、建設、維持管理に多額の費用を要する大規模な処理施設が必要な集合処理より、個別に設置、廃止することが容易な合併浄化槽設置の推進が必要である。		
目標年度 平成27 年度			
取組状況	補助金により設置者の負担が軽減され、生活排水処理が促進されることは、生活環境の保全に結びついている。		
中長期的に取り組むべき改善提案	生活排水処理の必要性・補助制度の周知をし、より多くの世帯が合併浄化槽を設置することで河川等の水質汚濁防止につなげる。下水道普及率が95%を超える状況下で補助のあり方を検討する。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	生活排水処理の重要性の啓発・合併浄化槽設置補助金制度の周知を図る。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	B
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費				
コスト	事業費	平成27年度		平成26年度		平成25年度		平成24年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	528千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	528千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.05人	355千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.05人	355千円	人	千円	人	千円	人	千円
	総事業費	883千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源		883千円	千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	883千円	千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	改善して継続します。			目標年度	平成29	年度を目安
判断事由	補助対象事業者を見直し、継続します。					
実施主体の方向性	現状どおり実施します。			目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	公衆衛生上の面からも市が行います。					
コスト投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	補助金交付要綱に基づいて適切に行います。					
人員投入の方向性	現状を維持します。			目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状の体制で行います。					
すぐに行える改善提案	補助対象事業者を補助交付目的に沿うように見直します。					
目標年度 平成29 年度						
中長期的に取り組むべき改善提案	公共下水道事業の整備状況に対応しながら、的確に行っていきます。					
目標年度 平成31 年度						

【事業の成果】

成果	合併浄化槽の設置数	指標名	単位	年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
		目標値	1	達成率		達成率	達成率	達成率
	実績値	1	100					
		目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
		実績値						
		目標値		達成率		達成率	達成率	達成率
		実績値						